

# 48 風力風向計

図面を読み、金属加工を体験し、バランスの取れた風力風向計を製作。



<p>体験のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面・手順書を基に、部品作りと組立、その動作テストを体験する。</li> <li>・部品作りでは、アルミ材のケガキ・ノコ切断・ドリル穴あけ・板曲げ・タップネジ加工、ステンレス板のスポット溶接、旋盤による円錐面の加工を体験する。</li> <li>・組立では、複数の部品を結合し、力を受ける軸を軸受けによって軽く動く仕組みを理解する。</li> <li>・風力、風の方向を目で見るができる風力風向計を作ることで、風というものは常に変化していることを知ることができる。</li> </ul>
<p>関連する主な仕事</p>	<p>設計、板金、機械加工</p>

## ①オリエンテーション



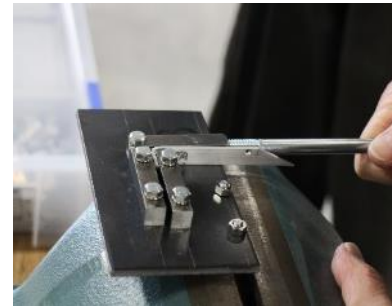
講師の紹介と作業手順の説明を聞く。

## ②ケガキ



主軸取り付けアームの取り付け穴芯を鉛筆でマークする。

## ③曲げ



風向板取り付けアームを治具を使って90度に曲げる。

## ④タップネジ加工



ブロック穴にタップを入れ、ハンドルを廻してネジを切る。

## ⑤組立(風向板)



ブロックに風向板と、矢先・竿を取り付ける。

## ⑥仕上げ加工



ベース板に全部品を組み付ける。

## ⑦風受け角度曲げ



風向板を30度程度に曲げ、風を受ける角度を調整する。

## ⑧片付けとまとめ



片付け、まとめをして終了。